

宮城県ユニセフ協会設立 20 周年記念式典 & 祝賀会を開催しました

11月13日(金)17時から江陽グランドホテル4階銀河の間で開催し、110名の方々にご参加いただきました。一カ雅彦会長の挨拶、宮城県知事村井嘉宏様からのご祝辞(代理で宮城県保健福祉部次長の山口様が代読)、日本ユニセフ協会赤松良子会長とアグネス・チャン日本ユニセフ協会大使からのビデオメッセージ、祝電・メッセージの披露のあと、「20年の歩み～みんなの力を笑顔にかえて～」(渡辺祥子さんナレーション)のビデオを見ていただきました。ご来賓として仙台市長奥山恵美子様(代理で子供未来局次長の中塚様)にもご列席いただきました。記念講演は、日本ユニセフ協会早水研専務理事による「ユニセフのこれまで、そしてこれから」と題して、「日本ユニセフ協会60年の振り返り」のビデオ上映のあと、わかりやすいデータをスクリーンに映しながらお話しいただきました。ユニセフの歴史、ミレニアム開発目標(MDGs:2015年到達)や今年採択された持続可能な開発目標(SDGs)の説明もありました。第2部の祝賀会ではご参加の皆さまがいろいろと交流できる時間となりました。多くの皆さまに20周年をお祝いいただき、今後の活動の飛躍に結びつくような励ましをいただきました。



一カ雅彦会長から感謝の挨拶



講師の日本ユニセフ協会早水研専務理事



第2部の祝賀会

写真パネル展「一筋の光～南スーダン」をリレー開催しました

みやぎ生協文化会館ウィズ、白石店、古川南店、名取西店で、10月15日から11月11日まで開催し、多くの方々に見ていただきました。



「ユニセフ募金応援キャンペーン」 2015年度第1期

みやぎ生協ではお取引先様のご協力を得て、1998年から実施してきました。対象商品を購入すると、一定額がユニセフに募金されるものです。第1期は10月15日から11月11まで行われ、参加企業は41社、43万円余のご協力がありました。



みやぎ生協48店舗で実施 このポップが目印

出前講座 11月18日(水)

毎年、聖ドミニコ学院小学校では全校上げて、ハンド・イン・ハンド(街頭募金活動)を行っています。その事前学習としてユニセフのボランティアが出向いての学習会を実施しました。ハンド・イン・ハンドの今年のテーマは「すべての子どもに5歳の誕生日を」です。途上国の子どもたちの現状を、フォトランゲージやパネルシアター、体験学習などを通して伝えることができました。



南三陸町に新たに「南三陸病院・総合ケアセンター南三陸」が完成し、11月25日の落成式に参列しました。公立志津川病院が被災し、町内には総合病院がなかったため、医療・保健・福祉が連携する新しい施設は、町民の心の拠り所となります。日本ユニセフ協会では、2012年に志津川と歌津に保健センターを建設し、南三陸町の皆さまにご利用いただいていたことから、南三陸町から日本ユニセフ協会へ感謝状が贈呈されました。

